

「ご安全に！」思いは通じていますか、災害多発に歯止めを！！

昨年の基幹労連における死亡災害発生は19件24人でした。発生件数の問題もさることながら、人ひとりの命の尊さと、ご遺族はもとより、被災者に関わるすべての方の心の痛み、そして何よりも当事者である仲間の無念を想うとき、断腸の思いです。

2015年が明けて1ヵ月、基幹労連に集う全ての組織の思いは、重大災害・死亡災害ゼロ。労使ともに、まずは安全と健康を好循環の基軸としてスタートしたはずです。

関係者の努力は十分に窺い知るところですが、極めて遺憾なことに、**このひと月で5件5人もの尊い命が失われました。**被災された方々は20代から60代、それは「頼れるお父さんであり、誇れる息子であり、職場のリーダー、無二の親友・愛すべき友」、その仲間の尊い命が失われたのです。

個々の災害の原因・分析は続いています。が、**作業のルール、行動、設備不備・不具合など、これまでの類似災害が生かされているのか**、それぞれの職場で、今一度確認してください。作業標準書、作業手順書、禁止事項等、労使・職場で互いに確認したルールが「当たり前」で終わってないでしょうか。我が身を守り、仲間を守るためのルールの徹底を互いが遠慮なく指摘し合い、実行動に移してください。

ご安全に！の声掛けは、「仲間の安全と健康を願い、自らの誓いを込めた挨拶」です。笑顔で出勤し、笑顔で帰宅させることは労使の責務。

命の尊さを改めて認識し、尊い教訓を胸に刻み、災害の連鎖に歯止めをかけましょう。

ご安全に！

2015年1月21日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 神田 健一